



サーバ特集に寄せて

執行役員常務
システムプロダクトビジネスグループ長

豊木 剛行

創立75周年の今年、富士通は新しいブランドプロミス“Shaping tomorrow with you”を制定いたしました。ブランドプロミスは富士通グループが果たすべきお客様との約束です。この約束は「お客様とともに成長する」「お客様との長期的なパートナーシップを大切にする」「ICTの力で社会の未来を切り開く」というグループ全体の強い意思から誕生したものです。

今日のICTの進化は極めて早く、テクノロジーそのものの大きな進歩に加え、クラウドコンピューティング、センサ技術、ユビキタス端末など新しいサービス基盤も現れてきました。これからの新しい時代では、人々の社会活動から生まれる情報をデータとして取り込み、それを素早く企業活動に生かすことがますます求められてきます。富士通は、このような時代の流れを先取りし、お客様の事業展開に貢献していくとともに、新ブランドプロミスShaping tomorrow with youでお約束する、お客様との長期的なパートナーシップを築いていきたいと考えています。

また、この新しい時代を、我々はヒューマンセントリックな時代と呼んでいます。ヒューマンセントリックな時代では、収集・蓄積される膨大な情報を基に、より素早い事業活動や、より迅速な処理を実現するため、既存の資産を活かしながら、ICT環境を進化させていく必要があります。富士通は、新しい時代を支えるサービスとプラットフォームを提供してまいります。

今回のサーバ特集では、このヒューマンセントリックな社会の活動を支えるサーバプラットフォームの最新技術と富士通の取組みについて解説します。富士通のサーバ開発の歴史は、約50年前にメインフレームの開発に着手したときから始まり、その開発方針は「安心してお客様にご利用いただくこと」であり、今もそれは変わりません。メインフレーム、オフコン、UNIXサーバ、PCサーバとその時代の要請に応える新しいサーバを開発し、それらすべてがサーバポートフォリオとして現在も継続しています。いつの時代においても最新のテクノロジーを提供し続けることが富士通の使命と考えています。こうしたサーバそのものに加え、ハードウェア技術の進化に同期した仮想化・統合といったシステムの管理技術の高度化、クラウドコンピューティングによるICT環境の俊敏性・利便性の向上なども紹介いたします。

富士通は、ものづくりにこだわり、高信頼・高性能そして活用しやすいプラットフォーム環境を提供してまいります。そして、お客様の「ビジネスの継続性」「新ビジネスへの対応」「ビジネスの場の拡大」に貢献するため、理想的なICT環境を実現するために、これからも全力を挙げて取り組んでまいります。引き続きご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。